Ⅰ．2025 年度（第 50 期）の概要

○ 事 業 関 係

- 研究奨励金、海外留学助成金及び若手研究支援交付対象者は、選考委員会で厳正な審査の上、候補者を選考し、第 2 回理事会(2025 年 11 月 11 日)で決定した。研究奨励金、海外留学助成金及び若手研究支援の交付対象者には、贈呈証書を授与するとともに研究奨励金等を交付した。
- 研究奨励金については、前々年度（2023 年度）から増額・増枠を行い、「小児領域の臨床薬理」を対象とした臨床研究枠を設置している。また、海外留学助成金についても、昨今の物価高、円安等の影響に加え、為替変動分を考慮し、研究奨励金同様、2023 年度より交付金額を 350 万円×2 年から 750 万円×2 年に増額した。
- さらに、2023 年度に新設された若手研究支援については、対象者に対して 2 年間の支援の 2 年目分となる交付金（50 万円）を支給した。
- 1975 年に設立した弊財団の設立 50 周年を記念し、『設立 50 周年に感謝と誇りをもって、臨床薬理学の更なる発展に貢献しよう』をスローガンに掲げ、財団設立 50 周年記念式典を 2026 年 7 月 12 日に開催した。また併せて、記念誌『50 年のあゆみ』を発刊した。
- 臨床薬理研究振興財団賞（以下「財団賞」という。） 交付対象者は、第 2 回財団賞選考委員会（2025 年 9 月 4 日）で厳正な審査の上、候補者を選考し、日本臨床薬理学会の理事会で決定、当財団第 2 回理事会で承認した。第 46 回日本臨床薬理学会学術総会（東京）の会期中に財団賞学術奨励賞及び財団賞学術論文賞を交付した。
- 印刷発刊の最終刊となる研究報告集「臨床薬理の進歩」No.46 を発刊した（2025 年 6 月 20 日）。併せてデジタルブックとして、財団 HP に掲載した。
- 第 18 回研究報告会（2025 年 11 月 11 日）を、研究大賞受賞者(5 名)、海外留学助成金受給者(3 名)を演者とし開催した。
- 第 9 回(2025 年度)臨床薬理学集中講座（2025 年 7-9 月）も Web 開催で実施した（57 名が参加）。第 9 回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナーについては、第 46 回日本臨床薬理学会学術総会（2025 年 12 月 5 日）のプログラムの一環として開催した。

○ 人 事 関 係

- 理事 5 名の任期満了に伴い、4 名が重任、1 名が退任した。新たな 2 名が理事に就任し、重任理事、新任理事に関して、定時評議員会（2025 年 6 月 11 日）にて承認された。

（敬称略 50 音順）

重任理事（5 名）	池上 卓志、川合 眞一、成宮 周、松本 直樹、矢野 育子
新任理事（2 名）	安藤 仁、乾 直輝
退任理事（1 名）	成宮 周

- 運営体制の充実を図るための取り組みとして、理事については 18 名中 16 名を外部理事、監事については２名中１名を外部監事で構成し、ガバナンスの強化を図っている。

○ 決 算 関 係

- 2025 年度寄附金として、第一三共株式会社から、2 億 1 千万円を受領した。内訳として、2 億円の受領(2025 年 4 月 10 日)と、1 千万円は前受け金として受領（2025 年 3 月 25 日）。
- 前年度の 2024 年度(第 49 期)決算内容については、監事の監査を受けるとともに、第 1 回理事会(2025 年 5 月 16 日)及び定時評議員会(2025 年 6 月 11 日)に付議し、承認された。

Ⅱ．2025 年度（第 50 期）事業報告

2024 年度 第 3 回理事会(2025 年 2 月 14 日)の決定に基づき、以下の事業を実施した。

1. 2025 年度(第 50 回)研究奨励金等の交付（定款 第 4 条第 1 項第 1 号、第 2 号）

(1) 研究奨励金

◆募集内容

・募集研究分野：臨床薬理研究
・募集件数（公募） 27件程度
・交付金額 27件 各300万円
・募集期間 2025年6月13日～8月29日
・応募件数（研究奨励金） 98件

◆選考経過

・第1回選考委員会開催（募集方法等の審議） 2025年5月22日
・選考委員による申請書の評価 2025年9月3日～10月3日
・第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 2025年10月29日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

・2025年度第2回理事会にて決定 2025年11月11日
・決定通知完了 2025年11月13日
・交付対象件数 27件、附属明細書－1に掲載
・交付金額 8,100万円（各300万円）
・贈呈証書授与完了 2026年1月26日
・交付完了 2026年3月5日

(2) 海外留学助成金

◆募集内容

・募集人数（公募） 2名以内
・交付金額 2件 各750万円/年、原則2年間交付
・募集期間 2025年6月13日～8月29日
・応募件数 37件

◆選考経過

・第1回選考委員会開催（募集方法等の審議） 2025年5月22日
・選考委員による申請書の評価 2025年9月3日～10月3日
・第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 2025年10月29日
・交付対象者候補の面接実施 2025年10月30日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

・2025年度第2回理事会にて決定 2025年11月11日
・決定通知完了 2025年11月30日
・交付対象者 2名、附属明細書－1に掲載
・交付金額 1,500万円（各750万円）
・贈呈証書授与完了 2026年1月21日
・交付完了 2026年1月23日

(3) 若手研究支援

◆募集内容

・募集研究分野：臨床薬理研究
・募集件数（公募） 6件程度
・交付金額 6件 各50万円/年、原則2年間交付

・募集期間　2025年6月13日～8月29日
・応募件数　70件

◆選考経過
・第1回選考委員会開催（募集方法等の審議）　2025年5月22日
・選考委員による申請書の評価　2025年9月3日～10月3日
・第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考）　2025年10月29日

◆交付対象者の決定、通知及び交付
・2025年度第2回理事会にて決定　2025年11月11日
・決定通知完了　2025年11月13日
・交付対象件数　9件、附属明細書－1に掲載
・交付金額　300万円（各50万円）
・贈呈証書授与完了　2026年2月3日
・交付完了　2026年2月16日

2. 臨床薬理研究振興財団賞の贈呈（定款 第4条第1項第1号、第3号）

日本臨床薬理学会に設置された選考委員会に選考を委任し、臨床薬理研究振興財団賞を次のとおり交付した。

(1) 第36回(2025年度)臨床薬理研究振興財団賞

◆募集内容
・募集件数　学術奨励賞　2件
　学術論文賞　3件
・募集期間　2025年4月1日～6月13日
・応募件数　学術奨励賞　10件
　学術論文賞A　13件
　学術論文賞B　31件

◆選考経過
・第1回選考委員会開催（募集方法等の審議）　2025年2月20日
・選考委員による申請書の評価　2025年7月24日～8月15日
・第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考）　2025年9月4日

◆交付対象者の決定、授与式及び交付
・日本臨床薬理学会理事会にて決定（メール回付審議）　2025年9月26日
・2025年度第2回理事会にて承認　2025年11月12日
・交付対象件数　5件、附属明細書－2に掲載
・交付金額　学術奨励賞 2件　600万円（各300万円）
　学術論文賞 3件　150万円　（各50万円）
・授与式（第45回日本臨床薬理学会学術総会（東京））　2025年12月5日
・交付完了　2026年2月16日

3. 研究報告集「臨床薬理の進歩」の発刊（定款 第4条第1項第5号）

(1) No.46の編集・発刊

2025年4月5日に編集会議を開催し、次のとおり実施した。

・掲載論文　　附属明細書－3に掲載

研究奨励金交付論文（2022年度）	12編
研究奨励金交付論文（2021年度）	1編
研究奨励金交付論文（2020年度）	2編
海外留学助成金報告	2編
計	17編

・発 刊 日　　2025年6月20日

・配 布 先	大学、附属病院など	1,194冊
	財団役員、評議員、選考委員 他	283冊
	交 付 者	22冊
	図 書 館	59冊
	その他助成財団、会社関係他	145冊
	計	1,703冊

(2) No.47の発刊準備

・掲載論文（予定）

研究奨励金交付論文（2023年度）	20編
研究奨励金交付論文（2022年度）	8編
海外留学助成金報告	2編
計	30編

・発刊予定年月　　2026年6月

※No.47より、デジタルブックのみでの発刊となります

4. 研究報告会の開催（定款 第 4 条第 1 項第 5 号）

臨床薬理研究振興財団研究大賞(以下「研究大賞」という)受賞者等による第 18 回臨床薬理研究振興財団研究報告会(以下「研究報告会」という)を次のとおり実施した。

(敬称略)

・日　時　　：2025 年 11 月 11 日（火）15 時 30 分～19 時 30 分
・開催会場　　：経団連会館　ダイアモンドルーム
・参加者　　：68 名
・プログラム：附属明細書－4 に掲載

〈第 1 部〉　研究大賞表彰式

挨拶		理事長	平島 昭司
選考経過報告		編集委員	大戸 茂弘
表彰式		研究大賞受賞者	
〈第 2 部〉　研究報告会	座長	理事	矢部 千尋
		理事	矢野 育子
	演者	研究大賞受賞者	5 名
		海外留学助成金受給者	3 名
閉会にあたって		評議員	楠岡 英雄

【研究報告会】研究大賞の受賞者表彰と研究成果発表、及び海外留学修了者の研究報告の会で、今後の臨床薬理学の発展や臨床薬理研究者の育成に貢献することを目的に 2008 年度から実施している。

【研究大賞】当財団が交付した研究奨励金を用いて研究が実施され、その後、研究の成果として研究報告集「臨床薬理の進歩」に掲載された論文の中から、特に優秀で今後の発展が期待されるものを選び表彰するものである。

5. 臨床薬理学集中講座の開講（定款 第4条第1項第4号）

2025年度の臨床薬理学集中講座（以下「集中講座」という。）を以下のとおりWEBにて開催した。

本集中講座の一環として、第46回日本臨床薬理学会学術総会のプログラムの中で第9回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナー（以下「フォローアップ･セミナー」という。）に組入れていただき、当財団主催にて、2025年12月5日に開催した。本集中講座は、若手医師・薬剤師等が臨床薬理学を体系的・集中的に研鑽する場として、薬物療法の基本を実践し、臨床試験を通じたエビデンスの創造・発信ができる医療従事者・研究者の育成を趣旨とする。

集中講座を企画・運営するために、下記の臨床薬理学集中講座実行委員会、及び臨床試験企画立案演習チーム会を開催した。また、集中講座企画立案演習開催日までにWeb会（受講者間のリレーション構築のためのミーティング）を2回実施した。

臨床薬理学集中講座実行委員会

1) 開催日： 2025年5月15日
　議　事： 第9回集中講座の受講者決定、
　　第9回フォローアップ･セミナー準備状況の確認
2) 開催日： 2025年11月11日
　議　事： 第9回集中講座の結果報告
　　第9回フォローアップ･セミナー準備状況の確認
3) 開催日： 2026年2月5日
　議　事： 第9回集中講座の募集要項･開催方法･講義内容等決定
　　第9回フォローアップ･セミナー開催報告

臨床試験企画立案演習チーム会

1) 開催日： 2025年5月26日
　議　事： 募集状況報告、受講生班編成、第9回プログラム検討、開催準備状況報告等
2) 開催日： 2025年7月17日
　議　事： 第1回WEB会について、患者同意説明文書の検討等

Web会（受講者間のリレーション構築のためのミーティング）

1) 開催日： 2025年7月30日
　内　容： 班ごとに自己紹介、「患者同意説明文書」作成等
2) 開催日： 2025年8月4日
　内　容： 作成した「患者同意説明文書」の発表、企画立案演習課題の説明等

臨床試験企画立案演習

　開催日： 2025年9月7日
　内　容： 臨床試験企画立案演習(Web会議)

第9回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナーの概要：附属明細書－5に掲載

6. 財団設立 50 周年記念式典の開催、記念誌「50 年のあゆみ」の発刊

弊財団は 1975 年に設立しており、2025 年が財団設立 50 周年の記念年となる。

『設立 50 周年に感謝と誇りをもって、臨床薬理学の更なる発展に貢献しよう』をスローガンに掲げ、設立 50 周年記念式典を以下のとおりに開催した。また併せて、記念誌『50 年のあゆみ』を発刊した。

【財団設立 50 周年記念式典】

・日　時： 2025 年 7 月 12 日（土）14 時 00 分～18 時 30 分

・場　所： 品川プリンスホテル アネックスタワー プリンスホール（東京都港区高輪 4-10-30）

・プログラム： 以下のとおり（敬称略）

《第 1 部》祝辞・挨拶・表彰式

挨拶 理事長　平島 昭司

祝辞 出捐会社代表　第一三共株式会社 代表取締役会長 眞鍋 淳

祝辞 医薬品医療機器総合機構 理事長　藤原 康弘

祝辞 文部科学省高等教育局医学教育課長　日比 謙一郎

祝辞 委員会代表　浜松医科大学学長　渡邉 裕司

祝辞・講演　大分大学名誉教授　中野 重行「臨床薬理学集中講座と参加体験型学習の意義」

財団功労賞表彰式　11 名（五十音順）岡 希太郎、海老原 昭夫、大野 竜三、岸本 忠三、黒川 清、佐々木 英忠、鈴木 忠生、鈴木 徳治、中野 重行、松田 一郎、御子柴 克彦

《第 2 部》講演会

若手ネットワーク醸成：多施設共同研究の成果

座長　浜松医科大学 臨床薬理学 教授 乾 直輝

○ドラッグリポジショニング　演者（講演順）石澤 啓介、座間味 義人、武智 研志

○ポリファーマシー　演者（講演順）鈴木 啓介、平島 学

記念講演：研究奨励金交付者優秀研究報告

座長　聖マリアンナ医科大学 薬理学 客員教授 松本 直樹

・「トランスポーターを介した薬物動態と薬物相互作用の検出に向けたバイオマーカー臨床研究の進展」

東京大学 大学院薬学研究科分子薬物動態学 教授 楠原 洋之

（2012 年、2018 年研究大賞）

・「iPS 神経変性疾患イニシアティブ：創薬基盤構築とその社会実装への展望」

京都大学 iPS 研究所 増殖分化機構研究部門 教授 井上 治久

（2015 年研究大賞）

・「臨床薬理の視点から最適化する小児白血病治療」

東京大学 大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻小児医学講座

教授 加藤 元博（2019 年研究大賞）

特別講演：がん治療開発のこれまでとこれから

座長　浜松医科大学 学長 渡邉 裕司

・「がん治療開発のこれまでとこれから」

公益財団法人がん研究会　研究本部　本部長（兼）がんプレシジョン医療研究センター　所長

国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院　名誉院長 大津 敦

《第 3 部》情報交換会

祝辞 出捐会社 第一三共株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 奥澤 宏幸

祝辞 日本臨床薬理学会 理事長　志賀 剛

【記念誌：「50 年のあゆみ」】

・発刊日： 2025 年 7 月 12 日（土）

・掲載内容：以下のとおり（敬称略）

はじめに　理事長 平島 昭司

歴代理事長／財団役員（理事・監事）評議員・顧問／財団職員

設立趣意書

50 周年に寄せて（お祝いメッセージ；掲載順）

中山 譲治、廣川 和憲、齋 寿明、海老原 昭夫、中野 重行、松田 一郎、大野 竜三、庄田 隆、岡 希太郎、大橋 京一、大内 尉義、野村 隆英、太田 公昭、加村 典正、上田 孝典、西條 長宏、橋田 充、堀田 饒、小林 真一、安原 一、越前 宏俊、長谷川 純一、山田 浩、野元 正弘、下田　和孝、谷川原 祐介、望月 眞弓、楊河 宏章、熊谷 雄治、本間 真人、中村 秀文、川上 純一、三浦 淳、伊藤 秀一、河田 興、乾 直輝、安藤 仁、折笠 秀樹、野間 久史、佐藤 淳子、肥田 典子、三邉 武彦、安藤 雄一、石澤 啓介、岡村 信行、山内 高弘、藤 秀人、鈴木 忠生、鈴木 章人、金田 豊正、御子柴克彦、柴﨑 正勝、乾 賢一、杉山 雄一、小口 勝司、宮坂 信之、楠岡 英雄、江口 正夫、成宮 周、川合 眞一、五十嵐 隆、藤村 昭夫、渡邉 裕司、矢部 千尋、大津 敦、家入 一郎、大戸 茂弘、松本 直樹、矢野 育子、志賀 剛、上村 尚人、楠原 洋之、杉山 正治、高村健太郎

座談会（２チーム）

(1) 2050 年に向けた臨床薬理学の将来展望　～歴史を踏まえ次世代への期待を語る～

中野 重行、藤村 昭夫、渡邉 裕司、家入 一郎、平井 みどり、森下 典子

(2) 2050 年に向けた臨床薬理学の将来　～新たな時代に向けた展望を語る～

安藤 仁、乾 直輝、庄司 健介、曳野 圭子、福土 将秀、肥田 典子

(3) 座長対談 臨床薬理学の発展に向けた懸け橋

渡邉 裕司、安藤 仁

「臨床薬理学集中講座」のまとめ　中野 重行

受講者経験メッセージ（掲載順） 内田 直樹、藤 秀人、松本 直樹、濱田 哲暢、氏原 淳、前田 実花、今井 浩光、竹ノ下 祥子、肥田 典子、座間味 義人、太田 有紀、徳重 明央、中馬 真幸、丹沢 彩乃、木田 圭亮、安井 秀樹、細萱 直希、長谷部 結衣、島津 裕、

研究奨励金等を受領された先生方の研究活動調査集計報告

沿革　財団設立までのあゆみ、年譜（1975 年～2024 年）

助成事業　研究奨励金テーマ一覧、応募件数推移、交付状況、研究奨励金交付者一覧（1976 年～2024 年）、研究助成金交付者一覧（1990 年～2004 年）、若手研究支援交付者一覧（2023 年～2024 年）、海外留学等補助金交付者一覧（1976 年～2004 年）、海外留学助成金交付者一覧（2005 年～2024 年）、財団賞交付者一覧（1990 年～2024 年）、研究報告会の概要（2008 年～2024 年）、臨床薬理研究振興財団 研究大賞 受賞者一覧（2008 年～2024 年）、臨床薬理の進歩 総目次、臨床薬理学集中特別講座 講師・テーマ一覧（1997 年～2001 年）、臨床薬理学集中講座 講師・テーマ一覧（2016 年～2024 年）、臨床薬理学集中特別講座 受講者一覧、臨床薬理学集中講座 受講者一覧、

資料　公益財団法人 臨床薬理研究振興財団 定款、研究奨励金等交付規程、資産および事業活動支出の推移、役員・評議員・名誉理事・顧問・事務局 任期一覧、歴代選考委員一覧、

あとがき　常務理事　池上 卓志

7. 附属明細書

【附属明細書－1】

2025 年度（第 50 回）研究奨励金、海外留学助成金及び若手研究支援交付対象者

◆研究奨励金 27 件（1 件 300 万円）　　（敬称略　50 音順）

氏 名	所属機関	研究テーマ
あいざわ ふうか 相澤 風花	徳島大学病院 総合臨床研究センター	エストロゲンにより増悪する抗がん剤誘発性末梢神経障害への 薬物療法立脚
あさい ゆうき 朝居 祐貴	三重大学医学部附属病院 薬剤部	多角的アプローチによる膵肝連関に起因する抗菌薬誘発性肝障害 のメカニズム解明および予防薬同定
あなん けいすけ 阿南 圭祐	済生会熊本病院 臨床研究センター	特発性肺線維症急性増悪に対するステロイド早期漸減治療の 有効性:ランダム化比較試験
いくしま ひろあき 生島 弘彬	東京大学医学部附属病院 呼吸器内科	メチオニンサルベージ経路を標的とする合成致死に基づく 新規個別化治療戦略の開発
いのうえ だいち 井上 大地	大阪大学大学院 生命機能研究科・医学系研究科	RNA スプライシング異常との合成致死性を用いた新規治療戦略 の開発
えざき たけと 江崎 雄仁	慶應義塾大学 薬学部臨床薬学講座	抗体薬物複合体サシツズマブ ゴビテカンの薬物動態学 －薬力学－ゲノム薬理学的研究
かとう たけと 加藤 毅人	国立大学法人 東海国立大学機構名古屋大学 医学部附属病院 呼吸器外科	肺癌における術前免疫療法の奏効予測に向けた 多層的 AI バイオマーカーモデルの構築
かねひら ゆきむね 兼平 幸宗	山形大学医学部附属病院 薬剤部	炎症性腸疾患患者の授乳期における抗体医薬品の乳汁移行特性の 解明と乳児リスクの評価
かわち はやと 河内 勇人	京都府立医科大学 大学院医学 研究科呼吸器内科学	小細胞肺癌における BiTE 抗体タルラタマブの治療効果予測 :腸内細菌叢と腫瘍微小環境の包括的解析
くぼた ひろひと ☆窪田 博仁	京都大学 医学部附属病院小児科	リキッドバイオプシーによる再発神経芽腫の新規治療開発
さくら ふみあき 佐倉 文祥	広島大学病院 小児科	糖原病 Ia 型における新規高機能 SSO の臨床薬理評価
さとう ひろき 佐藤 裕樹	新潟大学大学院 医歯学総合 研究科消化器内科学分野	好酸球性食道炎に対する PPI・PCAB の分子学的治療効果の検証と 治療反応性予測モデルの構築
たきざわ けいいち ☆滝澤 慶一	東京大学医学部附属病院 小児科	CNI 腎毒性の分子病態に基づく尿中細胞外小胞マーカーの開発と 実装
たまうら もえ ☆玉浦 萌	広島市立舟入市民病院 広島大学大学院医系科学 研究科小児科学	バルプロ酸誘発性 Fanconi 症候群および高アンモニア血症における 薬理遺伝学的解析とリスク予測モデルの構築
つじもと しんいち 辻本 信一	横浜市立大学 医学部小児科	急性骨髄性白血病に対する代謝特性を標的とした新規治療戦略の 開発
つるどめ ゆうや 鶴留 優也	山陽小野田市立山口東京理科 大学 薬学部薬剤学・製剤学分野	脳梗塞治療薬エダラボンの臨床薬理学的パラドックス解明 :網羅的代謝産物解析による腎障害予防戦略の構築
どい しゅんいち 土井 駿一	聖マリアンナ医科大学 医学部循環器内科学	収縮能の保たれた心不全を合併した 2 型糖尿病患者の運動耐容能 へのチルゼパチドの有効性と安全性ランダム化比較試験
にしだ しょう 西田 翔	自治医科大学 腎泌尿器外科学 講座 腎臓外科学部門	一滴の血液と先端分析技術が拓く、腎移植後の新たな薬物投与設計 への挑戦
はやし りゅうすけ 林 隆介	札幌東徳洲会病院 医学研究所	好酸球性副鼻腔炎における抗コリン薬の有効性の検討
ひらばやし しげき 平林 茂樹	九州大学 大学院医学研究院 プレシジョン医療学分野	治療耐性変異の網羅的同定と機序解明によるファーマコゲノミクス 基盤構築
ふじい ともこ 藤井 智子	東京慈恵会医科大学 附属病院集中治療部	持続血液透析における透析用量が抗菌薬・抗がん剤・抗凝固薬の 薬物動態に及ぼす影響
ほそや ただし 細矢 匡	東京科学大学 膠原病・リウマチ内科学講座	ウェアラブルデバイスを活用した副作用検出アルゴリズムの開発
まつもと かずひで 松本 一秀	九州大学病院 肝臓・膵臓・胆道内科	膵癌患者由来オルガノイドを用いた薬剤スクリーニングによる Basal-like サブタイプの新規治療開発
みずの ともひろ 水野 智博	藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学講座	血管内皮障害マーカーに着目した抗悪性腫瘍薬による 腎障害および血小板減少症予測モデルの構築
やまもと しゅん 山本 駿	国立がん研究センター中央病院	切除不能な局所進行食道がんに対する導入 DCF とニボルマブ

	頭頸部・食道内科	併用療法の第 II 相試験
やまもと　ゆうすけ ☆山本　雄介	国立がん研究センター　研究所 病態情報学ユニット	小児がんを対象とした副作用の少ないポリマー結合型抗がん剤の開発
よしかわ　あかね 吉川　茜	順天堂大学　医学部　精神医学講座/大学院　医学研究科 精神・行動科	T 細胞 NMDA 受容体 ex vivo phenotype による統合失調症中核群の同定と臨床応用

☆：小児臨床薬理研究に対する助成（他は臨床薬理研究）

◆海外留学助成金 2 件（1 件 750 万円/年）　（敬称略　50 音順）

氏 名	所属機関	留学施設名（国名）	期間	研究テーマ
ふじもと　ゆうだい 藤本　雄大	順天堂大学 大学院医学研究科 循環器内科学	フローニンゲン大学 医療センター（オランダ）	3 年	腎不全合併急性心不全患者に対する至適薬物治療戦略の確立
やまぐち　あつし 山口　敦史	北海道大学病院 薬剤部	プリンセスマキシマセンター （オランダ）	2 年	小児再発 AML 患者におけるベネトクラクスの母集団 PK/PD モデリング

◆若手研究支援 9 件（1 件 50 万円/年）　（敬称略　50 音順）

氏 名	所属機関	研究テーマ
あらき　とものり 荒木　智徳	長崎大学　大学院医歯薬学総合研究科消化器内科学	アナモレリンの治療反応予測バイオマーカー開発に向けた探索的検討
いいじま　けんた 飯島　健太	神戸大学大学院 医学研究科感染治療学	Citrobacter koseri 菌血症の本邦の実態と、治療選択肢としてのセファゾリンの臨床薬理学的可能性の探索
おがわ　やすは 小川　泰葉	国立成育医療研究センター 女性の健康総合センター 妊娠と薬情報センター	授乳期薬物療法の安全性評価に資する薬剤選定方法論の確立と母乳中薬物濃度測定研究
かつべ　ゆり 勝部　友理恵	京都大学医学部附属病院 薬剤部	NUDT15 遺伝子多型に基づく免疫抑制療法と抗ウイルス療法の臨床薬理学的薬物相互作用解析
きたひろ　ゆみ 北廣　優実	神戸大学医学部附属病院 薬剤部	殺細胞性抗がん薬による皮膚色素沈着の予防・治療薬開発を目指したトランスレーショナルリサーチ
きむら　もとや 木村　元哉	愛知医科大学病院 神経内科	急性期 Branch Atheromatous Disease 患者の CYP2C19 の遺伝子多型を踏まえたクロピドグレルの臨床薬理学的有効性の検討
さいとう　しょういちろう 齊藤　正一郎	東京都立多摩総合医療センター　呼吸器・腫瘍内科	特発性肺線維症における新規体外診断用医薬品の開発
ばば　ゆうた 馬場　勇太	昭和医科大学藤が丘病院 血液内科	悪性リンパ腫における腸内細菌を介した T・NK 細胞疲弊制御による治療感受性の検討
わたなべ　ひろあき 渡辺　宏晃	金沢大学 医薬保健研究域薬学系	CDK4/6 阻害薬による薬剤性肝障害の早期発見に向けた肝由来エクソソーム内 miRNA の探索と循環 miRNA との関係解析

【附属明細書－2】

第 36 回 （2025 年度） 臨床薬理研究振興財団賞

（学術奨励賞 2 件: 600 万円（各 300 万円）、学術論文賞 3 件: 150 万円（各 50 万円））　　（敬称略）

	氏　名	所属機関	研究テーマ・受賞論文タイトル （掲載誌）
学術奨励賞	たなか　あつし 田中　敦史	佐賀大学　医学部 循環器内科	心不全の時間的・空間的多様性を考慮した新規臨床マーカーの探索と治療応用
	ひら　だいき 平　大樹	京都大学医学部附属病院 薬剤部	吸入療法の精緻化を目指したファーマコメトリクス駆動型モニタリング手法構築のための多機関共同研究
学術論文賞	おかの　やすこ 岡野　泰子	横浜市立大学大学院 医学研究科 放射線治療学	Association Between Polymorphisms of NRF2 and Breast Cancer Risk in Japanese Population
	ひらい　けいた 平井　啓太	信州大学医学部附属病院 薬剤部／ 信州大学大学院医学系 研究科 臨床薬理学分野	Gene Polymorphisms of *NLRP3* Associated with Plasma Levels of 4β-Hydroxycholesterol, an Endogenous Marker of CYP3A Activity, in Patients With Asthma
	やぎした　しげひろ 柳下　薫寛	国立研究開発法人国立がん 研究センター研究所 分子薬理研究分野	Multicenter Pharmacokinetic and Pharmacodynamic Study of Pembrolizumab for Non-small-Cell Lung Cancer in Patients Aged 75 Years and Older

【附属明細書－3】
研究報告集「臨床薬理の進歩」No.46 掲載論文

2022 年度 研究奨励金交付論文 17 編　　（敬称略　50 音順）

氏名	所属機関	論文名
荻野（おぎの）　崇之（たかゆき）	大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科	オートファジーを標的とした炎症性腸疾患に対する 新規治療法の開発
片山（かたやま）　量平（りょうへい）	公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部	がん免疫記憶同系マウスモデルの確立と治療抵抗性 機構解析への応用
佐藤（さとう）　紀宏（のりひろ）	東北大学病院薬剤部	治療抵抗性統合失調症患者のクロザピン血中動態変動へ の OATP1B1 の影響
中川（なかがわ）　俊作（しゅんさく）	京都大学医学部附属病院　薬剤部	抗微生物薬の非経口投与が便中の短鎖脂肪酸および 胆汁酸に及ぼす影響
中田（なかた）　聡（さとし）	群馬大学医学部附属病院 脳神経外科	SLFN11 発現量で層別化した髄芽腫の新規治療戦略
新村（にいむら）　貴博（たかひろ）	徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床薬理学分野	医療ビッグデータを活用したサルコペニア治療薬の開発
平井（ひらい）　啓太（けいた）	信州大学大学院医学系研究科 臨床薬理学分野、 信州大学医学部附属病院薬剤部	デュピルマブの治療有効性に関わるマイクロ RNA の同定
福土（ふくど）　将秀（まさひで）	札幌医科大学附属病院　薬剤部	抗体医薬品の PK-ADA 解析を基盤とした治療最適化に 資するリアルワールドエビデンスの創出
福永（ふくなが）　航也（こうや）	国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター ファーマコゲノミクス研究チーム	13 集団の PGx 関連遺伝子バリアントの大規模 アノテーションデータベースの構築
藤野（ふじの）　剛雄（たけお）	九州大学大学院医学研究院 重症心肺不全講座、 九州大学病院循環器内科	心臓移植待機中の重症心不全患者においてヘモグロビン は心不全入院の予測因子となる
山本（やまもと）　和宏（かずひろ）	神戸大学医学部附属病院薬剤部、 岡山大学学術研究院医歯薬学域 （薬学系）臨床基礎統合薬学分野	新生児におけるフェンタニルの有害反応と薬物動態の評 価：生理学的薬物動態モデリング＆シミュレーション によるアプローチ
山本（やまもと）　奈々絵（ななえ）	九州大学病院薬剤部	整腸剤および発酵食品由来細菌が医薬品の PK/PD に与え る影響についての検討

2021 年度 研究奨励金交付論文 1 編

氏名	所属	論文名
吉田（よしだ）　守（す） 美子（みこ）	独立行政法人国立病院機構四国 こどもとおとなの医療センター 臨床研究部 （元：徳島大学大学院　医歯薬学 研究部　血液・内分泌代謝内科学）	透析患者における新型コロナワクチン抗体価に影響する 因子の検討

2020 年度 研究奨励金交付論文 2 編

氏名	所属	論文名
武智（たけち）　研志（けんし）	松山大学　薬学部　医療薬学科 医薬情報解析学	リアルワールドデータを用いたオキサリプラチン誘発末梢 神経障害に対する予防薬の検討
肥田（ひだ）　典子（のりこ）	昭和医科大学大学院薬学研究科 臨床研究開発学分野 （元：昭和大学医学部薬理学講座 臨床薬理学部門）、 昭和医科大学臨床薬理研究所	統合失調症患者および健康成人における唾液中および 血液中アディポネクチン濃度に関する検討

海外留学助成金報告 2 編

氏名	所属	論文名
田中（たなか） 遼大（りょうた）	大分大学医学部附属病院　薬剤部	シンシナティ小児病院医療センター留学報告
村岡（むらおか）（平野） 成（せい）	東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野（医療センター大森病院）	ミシガン大学留学報告

【附属明細書－4】

第 18 回研究報告会

日　　時：2025 年 11 月 11 日（火）　15:30～19:30

場　　所：経団連会館（東京都千代田区大手町 1 丁目 3-2）

第 1 部　臨床薬理研究振興財団 研究大賞表彰式　（15:30～16:00）

挨拶	理事長	平島 昭司
選考経過報告	九州大学 特命教授　名誉教授（編集委員）	大戸 茂弘 先生
表彰式	研究大賞受賞者	

第 2 部　研究報告会（16:10～18:10）

【研究報告・留学報告】

座長	京都府立医科大学　名誉教授　（理事）	矢部 千尋 先生
	神戸大学医学部附属病院　薬剤部　教授・薬剤部長（理事）	矢野 育子 先生

リアルワールドデータを用いたオキサリプラチン誘発末梢神経障害に対する予防薬の検討

松山大学　薬学部　医療薬学科 医薬情報解析学　武智 研志 先生

13 集団の PGx 関連遺伝子バリアントの大規模アノテーションデータベースの構築

国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター　福永 航也 先生

メイヨークリニック留学報告（米国）

聖マリアンナ医科大学　医学部　内科学　土井 駿一 先生

ミシガン大学留学報告（米国）

東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野　村岡 成 先生

抗体医薬品の PK-ADA 解析を基盤とした治療最適化に資するリアルワールドエビデンスの創出

札幌医科大学附属病院　薬剤部　福土 将秀 先生

新生児におけるフェンタニルの有害反応と薬物動態の評価
：生理学的薬物動態モデリング＆シミュレーションによるアプローチ

岡山大学学術研究院医歯薬学域（薬学系）（元：神戸大学医学部附属病院薬剤部）　山本 和宏 先生

オートファジーを標的とした炎症性腸疾患に対する新規治療法の開発

大阪大学大学院医学系研究科　消化器外科　荻野 崇之 先生

マックスプランク研究所留学報告（ドイツ）

名古屋大学医学部　循環器内科　川瀬 治哉 先生

【まとめ・講評】

独立行政法人　国立病院機構　名誉理事長（評議員）　楠岡 英雄 先生

第 3 部　情報交換会（18:20～19:30）

【出捐者代表挨拶】	第一三共株式会社代表取締役会長兼 CEO	眞鍋 淳 様
【乾杯】	日本臨床薬理学会　理事長	志賀 剛 先生

【附属明細書－5】

第 9 回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナー(2025 年 12 月 5 日 東京)

座長：乾 直輝 先生　（浜松医科大学 臨床薬理学講座）

・集中講座参加メンバーによる多施設共同研究

～リアルワールドデータを用いた抗がん剤誘発末梢神経障害に対する予防薬の検討～

濱野 裕章 先生（岡山大学学術研究院 医療開発領域 薬剤部）

・臨床薬理学集中講座から始まったポリファーマシーに関する多施設共同研究

鈴木 啓介 先生（国立長寿医療研究センター 先端医療開発推進センター）

・集中講座参加メンバーによる多施設共同研究～おくすり問診票の有用性評価に関する研究～

平島 学 先生（:独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター）

・集中講座の紹介

臨床薬理研究振興財団